

タイトル	タブレット端末を活用した国語科のディスカッション指導		
学校名	茨城県立水戸飯富特別支援学校	学部・学年	中学部3学年
教科名等 単元・題材名	国語 話の内容を読み取ろう ～ないた赤おに～		
児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性により、他者の気持ちを考えることが難しい。 ・自分の意見を述べることはできるが、相手の意見を聞いて考えを深めるなどディスカッションをするには至らない。 		
授業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を正しく読み取り、登場人物の気持ちを捉えることができる。 		
ICT活用の ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを考える場面では、ロイロノートスクールを用いて比較して考えを深めることができるようにする。(主体的・対話的で深い学び) 	主に活用した アプリなど	<ul style="list-style-type: none"> ・iPad, iPhone ・Apple watch ・Apple TV ・アプリ「ロイロノートスクール」
授業における 支援 授業展開	<p>○ アプリ「ロイロノートスクール」について プレゼンテーションソフトの一つ。教員用iPadと生徒用iPadに分けて使用する。相互に資料を送信したり、生徒用iPadの画面を一覧表示したりすることができる。</p> <p>○ 授業の展開と支援の手立て</p> <p>1 「気持ちとは何か」考える。 本時の目標を確認した後に、他者の気持ちを考えるとはどういうことか確認する。赤ちゃんが泣いている写真や、困った表情をしている犬の写真などを見て、自由に回答できる場面を設定した。慣れてくると、赤ちゃん言葉にしてみたり、動物の鳴き声に変化をつけて表現したりするなど、より気持ちを想定して表現しようとすることができた。</p> <p>2 登場人物の心情を考える(1)「これまでの内容を確認する」 前時までの内容を思い出すことができるように、ロイロノートで作成した電子教科書を読み返したり、前時で考えた主な場面における心情の回答を再確認したりした。回答を比較した画面を用いて再確認することで、内容を思い出すことができた。</p> <p>3 登場人物の心情を考える(2)「本時のあらすじを知り、黙読をする」 事前に、どの登場人物の気持ちを考えるか確認することで、注意しながら読み進める。先に読み終わった生徒には、内容を確認することを伝え、再度考えながら読めるようにした。どこを読んでいるか分からなくなってしまう場合は、マーカー機能を使用し、黙読しているところに気付けるようにした。</p> <p>4 登場人物の心情を考える(4)「心情を考え、発表する」 生徒の回答をロイロノートで整理したり、比較し、考えを明確にしたりした。気持ちが答えられた生徒には、より具体的に考えるよう言葉をかけることで、深く理解できるようにした。</p> <p>○ 学習の様子</p>		
	 		
児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見に共感できる時には「イネ」カード、違うと感じた時には「ウーン」カードをロイロノートで配信することで意見が出しやすくなり、ディスカッションを行うことができ、結果自分の考えを深めることができた。 ・答えが合っているか不安そうにしている生徒に対しては、正解はたくさんあることを伝え、安心できるようにすることで自信をもって発表することができた。 		